

行けばわかるさ

読書の小径 こみち No.101

土岐市図書館 ☎ 1253

「歌人・河野裕子」



昨年8月、64歳で惜しまれながら逝った歌人・河野裕子。細胞生物学の権威であり、歌人でもある夫・永田和宏とは共に「宮中歌会始」選者も務めました。今月はこの二人の著作を紹介いたします。

永田和宏／河野裕子『京都うた紀行 現代の歌枕を訪ねて』。京都および近江の歌枕五十を訪ね、歌人たちのイメージや思いを追体験するとともに、自らも歌を詠んでいきます。辻喜夫の歌へいつ来ても光も音もひそかなり寺町二条三月書房を取り上げ、「六〇年代、七〇年代の雰囲気は今なお濃く残した」ユニークな品揃えで知られる三月書房を訪れるなど、現代の歌枕も取り上げています。

永田和宏『もうすぐ夏至だ』は、初のエッセイ集。表題は河野裕子に乳がんの転移が見つかつたときの著者の短歌（一日が過ぎれば一日減つてゆく君との時間もうすぐ夏至だ）から。「にわかには妻との時間が抜き差しならない切実なものとして、心を占め始めた。一日一日をできるだけ一緒に楽しく過ごしたいと願う。しかし、楽しければ楽しいだけ、そのことによって減っていく時間はいつそう切実に惜しまれるのである」。

河野裕子『たったこれだけの家族』は、家族の青春時代を描く若き日のエッセイと代表歌百首を収録した、河野裕子入門にうってつけの本です。〈手をのべてあなたとあなたに触れたきに息が足りないこの世の息が〉。死の前日に彼女が詠んだ最後の歌です。

新刊紹介

書名	著者
ふたつの故宮博物館	野嶋 剛
殿様を叱る！	澤宮 優
日本を再生！ご近所の公共哲学	小川 仁志
ダイエット依存症	水島 広子
オールシーズンエコ節電の教科書	村井 哲之
もしも利休があなたを招いたら	千 宗屋
本の魔法	司 修
大江戸釣客伝上・下	夢枕 獏

図書館だより

臨時休館のお知らせ

図書館システム更新のため、9月26日(月)から10月6日(木)まで臨時休館します(9月13日から25日までは貸出期間が3週間となります)。新システムでは、セルフ貸出機や子ども専用の蔵書検索端末を導入するなど機能を充実します。臨時休館中はご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。

10月						
日	月	火	水	木	金	土
						①
②	③	④	⑤	⑥	7	8
9	⑩	11	12	13	14	15
16	⑰	18	19	20	21	22
23	⑳	24	25	26	27	㉘
29	30	⑳				

※○が休館日です

開館時間	
火～金曜日	10:00～19:00
土・日曜日、祝・休	10:00～17:00

※図書館のご利用は無料です